

KLIS TODAY

No.
8

筑波大学 情報学群 知識情報・図書館学類

〒305-8550 つくば市春日 1-2 Tel 029-859-1110 Fax 029-859-1162
URL <http://klis.tsukuba.ac.jp/> E-mail klis-info@inf.tsukuba.ac.jp

「青山七恵と気軽な朗読会」に参加して

中山 伸一

知識情報・図書館学類の同窓会である図書館情報学橋会が企画した「青山七恵と気軽な朗読会」が10月11日にメディアホールで開催されました。舞台俳優の榎谷裕さんによる青山さんの作品の朗読と、それに続く青山さん自身が語る朗読作品に関するお話、さらに青山さんによる作品朗読は、青山ワールドを身近に感じることができる新鮮な体験を我々に与えてくれました。

青山さんは文藝賞、芥川賞、川端康成文学賞を隔年で受賞された将来を嘱望される若手小説家であり、本学類の前身である図書館情報専門学群の卒業生です。朗読会前の懇談の際、春日の実習室のとある机で文藝賞の受賞作品である「窓の灯」を書きあげたという話を伺いました。その机は、青山さんにとっての記念碑であろうと思います。これからも、様々な分野で優れた人材が巣立ち、多くの記念碑が残されていく事を期待しています。
(なかやま・しんいち 図書館情報メディア研究科長)

青山七恵さんの本

- 『窓の灯』河出書房新社, 2005 (第42回文藝賞受賞)
- 『ひとり日和』河出書房新社, 2007 (第136回芥川賞受賞)
- 『やさしいため息』河出書房新社, 2008
- 『かけら』新潮社, 2009 (第35回川端康成文学賞受賞)
- 『魔法使いクラブ』幻冬舎, 2009

図書館情報学橋会 <http://www.tachibana-kai.com>
筑波大学図書館情報専門学群や図書館情報大学などの前身校から続いている同窓会です。



就職などの進路指導を積極的に展開

谷口 祥一

3年次生がいよいよ進学や就職という自らの進路を決め、本格的に就職活動などに乗り出す時期が来ました。知識情報・図書館学類では、これまでの図書館情報専門学群における手厚い就職支援等を引き継ぎ、全学レベルでの支援活動に加えて、独自の進路指導を展開しています。

企業系志望の学生のために、10月に入って順次、進路指導会、合同会社説明会、面接・グループディスカッション講座等を実施しました。公務員・図書館志望の学生には、公務員採用試験に向けて、独自の教養試験対策を実施しています。2年次の秋から4年次の6月にかけて、合計40回を超える「公務員試験準備講座（教養模擬試験）」を隔週で実施しています。また、個別の相談に対応するため、独自に進路相談員（週2日、就職等のコンサルタント企業と契約）を設けて相談に当たっています。

進路の決断、就職活動、公務員採用試験などを通して、個々の学生が大きく成長することを願っています。
(たにぐち・しょういち 知識情報・図書館学類 教授)



私の就職活動

「歩みたい道」を見つけよう

河合 誠

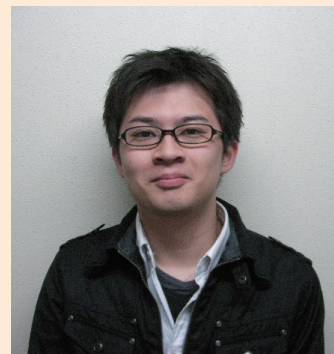
社会人になれば、限られた人生のうち多くの時間を費やすわけですから、誰しも納得できる道を歩みたいと願うでしょう。

私の場合、自分の好きなことを仕事としていければいいな、という思いから就職活動を始めました。その後自己分析を進める中で、「この業界に向いているのではないか？」と思えるようになりました。単に趣味だった世界が、自分の職業に対する考え・人間性などとマッチしていると思えたときが、私の就職活動の大きな通過点だったように思います。

様々な会社を見てまわり、情報を得ること。と同時に、自分の人物像や社会に対する思いなどを明瞭にすること。この二つこそが就職活動です。そして、成功の秘訣は「行動力&多くの人と『話す』こと」だと感じています。

みなさんの歩みたい道とはどんな道ですか？

(かわい・まこと 図書館情報専門学群4年次/JR西日本総合職内定)



2008年度筑波大学図書館情報専門学群※の進路状況

大庭 一郎

2009年3月に卒業した図書館情報専門学群生※の進路状況は、表の通りです。

(※ 図書館情報専門学群は知識情報・図書館学類の前身です。)

事項	卒業者 修了者	就職者					進学者	研究生 留学等	その他
		合計	企業	教員	法人等	公務員			
全体 (人数) ()は女子(内数)	194 (121)	141 (99)	109 (74)	2 (1)	7 (5)	23 (19)	22 (10)	5 (3)	26 (9)

主な進路は、①情報を生み出す、調査する職業（シンクタンク等）、②システムを開発する、提案する職業（IT企業等）、③サービスを人に提供する職業（法人職員（国立大学・学校・医療）等）、④情報を人に提供する職業（図書館等）、⑤大学院への進学などに分類できます。

この表では、図書館への就職者は、国立大学図書館は法人（独立行政法人）等として、私立大学図書館や企業資料室は企業として、公共図書館は公務員として、司書教諭は教員として個別に集計されます。そこで「公務員・図書館・学校等」という進路区分で再集計すると、38人が図書館職員等として就職しています。
(おおば・いちろう 知識情報・図書館学類 講師)

私の就職活動

公務員試験を受験して

宿谷 みゆき

私は、2年次から「公務員試験準備講座（教養模擬試験）」に参加し、公務員試験の勉強を始めました。しかし、サークルが忙しく、なかなか勉強時間を取れませんでした。「もう間に合わないのでは」などと考えてしまうこともありましたが、あきらめずに勉強を続けた結果、受けた1次試験はほぼ全て合格することができました。

2次試験の面接はなかなか通らず、日程も過酷で大変苦労しました。面接では、自分の経験とそこから学んだことをきちんと説明できること、その図書館と他の図書館との違いを意識することが大切だと思いました。

最終的に大学図書館に就職が決まりましたが、最後まであきらめずに乗り切ることができたのは、家族や友達、進路指導の先生の支えのおかげだと思います。これから就職活動をされる方は、ぜひ周りの人たちとのつながりを大切にしてください。

(しゅくや・みゆき 図書館情報専門学群4年次/信州大学附属図書館内定)

おめでとう！ 池田隼人・根本孝徳さん 第2回優秀作品賞（知識情報演習Ⅰ）

阪口 哲男

このたび、池田隼人さんと根本孝徳さんに「知識情報演習Ⅰ優秀作品賞」を贈りました。

知識情報演習Ⅰでは、前半で目録(メタデータ)規則とその作成について学び、後半でオンライン目録(OPAC)システムを構築しました。優秀なOPACシステムを構築した方に本賞を贈っています。課題ではOPACシステムの必須仕様に加え、中級・上級仕様が示されます。中級・上級仕様の実現は授業中に学んだ知識に加えてより高度な技術を自分で調べないとできません。

池田さんと根本さんはその上級仕様まで取り組んで、見事なシステムを仕上げました。他にも機能では若干及ばないものの、デザインに工夫を凝らしたものなど見所のある力作も多数ありました。この経験を生かして、今後の知識情報を扱うより高度な技術と知識を修得してくれることを期待しています。

(さかぐち・てつお 知識情報・図書館学類 准教授)



池田 隼人さん

CGIやRubyを用いたプログラミングを行うのは今回が初めてで、初めは四苦八苦しましたが、なんとか課題をこなすことができました。まさか、賞がいただけるとは思っていなかったのうれしい限りです。

(いけだ はやと 知識情報・図書館学類
3年次)



根本 孝徳さん

今回の課題はより実用的なシステムに近いもので、意図した通りに動いてくれると嬉しくもあり、楽しくもありました。プログラムだけでなく、結果表示ページのデザインも工夫しました。次の機会も頑張ろうと思います。

(ねもと たかのり
知識情報・図書館学類 2年次)

